

お知らせ

◆河口での転覆事故について◆

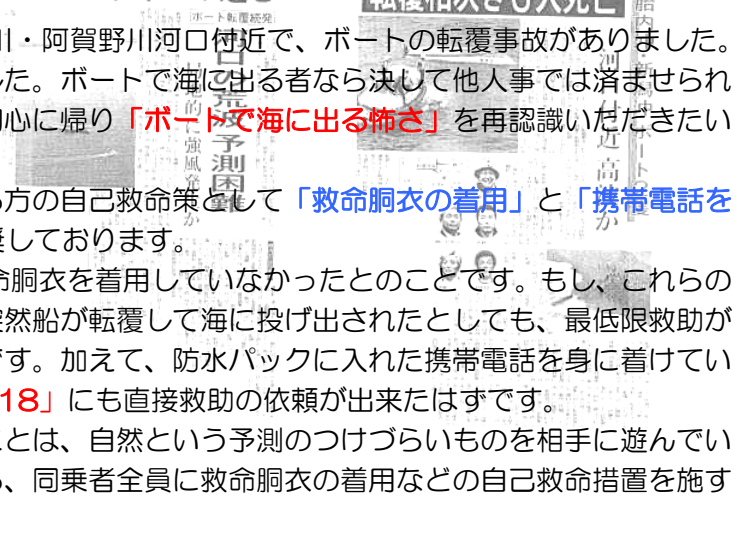
平成21年6月13日、新潟県下越地方の荒川・阿賀野川河口付近で、ボートの転覆事故がありました。この事故により、6名の方の尊い命が失われました。ボートで海に出る者なら決して他人事では済ませられないことだけに、今回の事故を教訓にもう一度初心に帰り「ボートで海に出る怖さ」を再認識いただきたいと思えます。

柏崎マリーナでは、以前よりボートで海に出る方の自己救命策として「救命胴衣の着用」と「携帯電話を防水パックに入れて身に付ける」ことを強く推奨しております。

今回の事故で亡くなられた6名の方は全員救命胴衣を着用していなかったとのこと。もし、これらの方々全員が救命胴衣を着用していたとしたら…突然船が転覆して海に投げ出されたとしても、最低限救助が来るまで海面に浮かんでいることは出来たはず。加えて、防水パックに入れた携帯電話を身に付けていたとしたら、海上保安庁への緊急番号である「118」にも直接救助の依頼が出来たはず。船の転覆には様々な要因がありますが、大事なことは、自然という予測のつけづらいものを相手に遊んでいる以上、その船の船長が率先して危機意識を持ち、同乗者全員に救命胴衣の着用などの自己救命措置を施すことだといえるのではないのでしょうか。

初夏の海 命のみ込む

転覆相次ぎ6人死亡



◆ぎおん柏崎まつり花火大会の交通規制について◆

本年も、7月26日(日)「ぎおん柏崎まつり海の大花火大会」が実施されます。例年、会場付近の渋滞が問題となっていることから、柏崎港～マリーナ前～国道8号線鯨波交差点の間の道路を花火大会当日の「午後4時から午後11時の間」車両通行止め規制とし、花火見物用のシャトルバスの通行のみにより渋滞緩和を図る計画です。

通行止めの各地点には、警察官や祭り主催者等の交通誘導員が立っておりますので、利用者と言えどもその時間帯はマリーナの出入りができませんのでご注意ください。

但し、この時間帯にどうしてもマリーナへの出入りをしたい方には、事前申請により「通行許可証」を祭り主催者から発行していただく予定であります。必要な方は7月20日(月)までにマリーナへご連絡ください。

なお、マリーナへの出入りは規制時間外に行うようにし、一度マリーナ内に入場したら規制時間内はできるだけ出入りを避けるようにしてください。

※花火大会当日の陸上および海上交通規制図等は、時期が近づきましたらマリーナに準備いたしますので必ずそちらをご覧ください。



「海中スターマイン」は柏崎でしか見られない珍しい花火です。ぜひ一度ご覧ください。

◆会議室の土・日・祝日等の一般開放について◆

夏季期間中の土日祝日に、管理棟2F会議室を一般開放いたします。暑くなるこれからの時期に合わせ室内を冷房しておりますので、ご休憩等にご利用ください。

- 【一般開放日】 7月18日～9月13日の土・日・祝日・お盆期間中(8月13日～16日)
- 【開放時間】 午前8時30分～午後5時くらいまで(ただし、会議室利用予約がある場合は開放しません)
- 【その他】 開放時室内は禁煙・禁酒とします。

◆外駐車場の有料化のご案内◆

例年通り、マリーナの外駐車場が7月25日(土)～8月16日(日)位までの予定で有料となりますので、あらかじめご了承ください。

◆夏季イベントのお知らせ◆

○キス釣り大会

以下の日程でKMOC主催のキス釣り大会を開催いたします。詳細はマリーナにある案内文書をご覧ください。

【日 時】 7月 12日（日）午前4：30受付開始 ～ 午前11：00終了

【締 切】 7月 5日（日）

○マリーナフェスティバル（夏季会員懇親会）

恒例となりました「夏季会員懇親会」を開催いたします。料金を含め詳細は確定しておりませんが、概ね以下の様に計画しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。お申込みは艇ごとにマリーナへ参加人数をお伝えください。詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

【日 時】 8月8日（土）夕方から宵の口くらいまで

【内 容】 会員間の懇親を目的としたバーベキュー大会。音楽バンド演奏も予定。（生ビール・ソフトドリンク付き）

【会 費】 大人 3千円～4千円（アルコールなしは2千円）／中学生以下 1,000 円程度で検討中です。

【締め切り】 8月5日（水）



○第1回「新潟県柏崎マリーナ マリンフォトコンテスト2009」

四季折々の柏崎マリーナの風景または釣り・クルージングなど船上での光景をテーマとした写真を募集中です。作品はマリーナ会員に限らずどなたでもご応募いただけますので、気に入った海の写真が撮れましたら、お気軽にご応募ください。コンテストの詳細については募集要項をよくお読みください。

◆マリーナからのお願い！◆

管理棟建物内の禁煙について

昨年来、管理棟建物内を禁煙とさせていただきます。灰皿を屋外管理棟周辺に用意いたしますので、そちらでの喫煙をお願いします。また、ポートヤードや泊地への吸殻の投げ捨てが目立ちますが、携帯灰皿を持つなどのマナー遵守をお願いいたします。

差し入れ等の辞退について

以前からお願い申し上げて参りました「差し入れ等の辞退」につきまして、引き続き辞退をさせていただきますので、お気遣い無用にてご来所いただきたく存じます。修理工場他の職員についても同様とさせていただきますので併せてお願い申し上げます。

ゴミの分別等の徹底について

現在マリーナのゴミ箱を、管理棟前に燃えるゴミ・燃えないゴミ・空き缶・ペットボトル・電池などに分別して捨てられるよう設置しておりますが、最近分別せずにそのままビニール袋に詰めて捨てられたゴミが散見されます。それらのゴミは回収業者も回収しませんので当方で分別し直しております。

また、家庭から持込まれたゴミや別途費用のかかる粗大ゴミや産業廃棄物（ペンキやシンナー類、オイル缶など）を捨てて行く方もいらっしゃいます。ゴミの分別はもはや社会常識です。このまま改善しないようだと、マリーナとしてもゴミ箱の撤去も検討せざるを得ませんので、ゴミの分別等にご協力をお願いいたします。

小型栈橋の予約係留について

現在、平面保管艇が時間外や休日に出港する場合には、事前に予約を受け小型栈橋などに係留しております。しかしながら最近、出艇数の増加に伴い、明確な出港の予定のないまま小型栈橋に係留し続ける船が見受けられます。

マリーナでも、時間外に出港する艇の増加に対応すべく、栈橋以外にも係留施設の増設をいたしました。が、係留場所に限りがあることには変わりありません。また、その日の天候や釣果によって係留の予定を変更せざるを得ないのは重々承知いたしておりますが、安易な場所取りや無計画な係留により小型栈橋が必要以上に混雑し、それによる船同士の接触等のトラブルが起きているのもまた事実です。 次頁に続く

…続き このような状況が続けば、今後出港予定が不明で長期係留してある艇の有償上架や一般使用料の徴収を実施せざるを得なくなります。皆様におかれましても、係留予約に則った日程の遵守と、出港しない日の係留はなるべくご遠慮いただきたいと思ひます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

おさかな事典

第21回 「サバ」 スズキ目・サバ科・サバ属

通常秋～冬にかけて産卵を迎えるサバですが、最近では生活環境の変化からか産卵時期が長くなっており、「**秋サバは嫁に食わずな**」の言葉のように脂が乗り食べ頃となる旬は、近年秋だけではなくてきているようです。

サバには、マサバとゴマサバの2種類があり、柏崎沿岸で釣れるサバは大抵が「マサバ」の方です。一方、ゴマサバは、マサバよりも体が丸身を帯びており、腹にゴマをまいたような小さな黒点があるので見分けられます。柏崎沿岸では、秋頃になるとよく釣れだします。

最近マリーナでは、アジに混ざってマサバもポツポツと釣れはじめました。食べた方に何うと非常に脂が乗っていたとのことですから、産卵に備えてこの時期沿岸に大量に群れているシラスを食べ、非常に脂が乗っているのでしょう。新鮮なまま持ち帰れば、刺身や×鯖でとてもおいしく食べることが出来ると思ひます。

しかし、「**サバの生き腐れ**」とよく言われるように、サバは釣り上げられたそのときから腐敗が始まる魚と言っても過言ではありませんので、釣り上げたらすぐにめて、血抜きをし、家に持ち帰るまでは、氷を入れたクーラーボックスに海水を入れ十分に冷やして保存しておいてください。そうすれば、釣人の特権である新鮮なサバの刺身や×鯖をご堪能いただけます。



大きな群れに当たれば、1時間程度でクーラーBOXが満杯!になることも…。



釣れたら面倒でも「活〆」と「血抜き」は必ず行ないましょう。

工場だより

■救命胴衣の保管・管理について

日頃、皆様には工場の利用や船舶検査においてご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。おかげ様で、本年度も船舶検査に該当する船の約2/3を終了させていただくことができました。

その中でも今回は、各艇に搭載された救命胴衣(救命浮環を含む)についての指摘が多かったため、検査時における主な改善指摘事例を元に皆様にご紹介いたします。

1. 救命胴衣に船名又は所有者名(救命浮環は船名と船籍港名)が未記入。または中古艇の為、表示が前所有者名等のままで、新しい船名または所有者名等が明示されていない。
2. ファスナー式の救命胴衣のうち、可動部が腐食、塩付き等で動かないもの(着られないもの)がある。
3. 膨張式の救命胴衣に取付けられているポンペが交換時期を過ぎていたり、外部が腐食している。

※膨張式救命胴衣は使用環境や保管条件等により大幅に寿命が変わります。マリーナでは、「最低、年に1回は吸気チューブで息を吹き込み、24時間経ってもエアが漏れていなければ異常なしとし、さらにその後、実際に作動させて機能テストをしてからポンペ等の交換をする」ことを強くおすすめします。「ポンペ等の費用がもったいない」といって交換を怠ると、いざという時に何の役にも立ちません。

船の備品のうち、救命胴衣は乗船者の命を守る一番大事なものといっても過言ではありません。日頃から救命胴衣の保守管理・点検を心がけ、損傷の激しい物・使用年数の古い物はいざと言うときに役に立ちませんので、ご自分が着る分のみならず乗船者の分も含めお早めに交換してください!あらゆる海難事故の教訓からも、救命胴衣着用の重要性は明らかです。皆さんが船長として乗り込む以上、自分も含めた乗船者全員が安全に楽しめるような環境作りをすることが、船長としての一番の遵守事項と法律でも謳われていることを自覚してください。



救命胴衣には、このように船名・所有者名を記入する場所がありますので、必ずご記入ください。



このように前の持ち主から引き続き使用している物は、何度も書き直しをされ、漂流者の身元を割り出すという本来の目的を果たしません。



破れた救命胴衣は、本来の機能を果たしません。



膨張式の救命胴衣にはこのようにポンペが内蔵されています。腐食してガスが漏れると、いざと言うときに膨張しません。

掲示板

◆安全講習会の開催◆

去る4月5日（日）柏崎マリーナ2階会議室において、マリーナ会員・一般参加の方々にマリーナ職員2名も加わった計17名により応急手当講習会を実施しました。講習内容は、柏崎市消防署・救急隊員の方々のご指導のもと、マリーナの事務所内にも設置してある**AED（自動体外式除細動器）**を使用した応急手当の講習で、座学と実技を織り交ぜながらのものとなりました。

昨年同様、今回もこの講習を受講した方全員に柏崎市消防長より「**普通救命講習Ⅰ**」の修了証が発行されました。講師の方も「**今回講習を受講された方も、救命技能を忘れることなく維持向上させるため、毎年講習を受けてください。そして、今回受講されなかった方はぜひ一度講習を受けていただきたい。**」とおっしゃっていました。



柏崎消防署・救急隊の皆さんを講師にお迎えしての講習です。



マリーナにも設置してあるAEDの使用方も実践しました。



正しい心臓マッサージを行う為にも、毎年講習を受講しましょう。



スライドを交えての分かりやすい講習内容でした。

◆新潟ボートショーの開催◆

去る4月18日（土）・19日（日）の2日間、新潟市の産業振興センターにて第19回新潟ボートショーが開催されました。今年で7回目の参加となる当マリーナも、昨年に引き続きPRのために出展をいたしました。今年の来場者数は2日間で約1,836人とこのことで、晴天に恵まれ釣りに出かける方が多かったことが影響してか、昨年に比べ若干来場者数が減ったとのことです。

来年も引き続き出展する予定でありますので、お時間のある方はぜひ会場まで足をお運びください。



今年で第19回目となる新潟ボートショー。今年は4月の開催となりました。



昨年に引き続き、美人女性アングラ「永浜いりあ」さんのトークショーが催されました。



柏崎マリーナのブース前です。釣果写真に足を止める人が多かったようです。



各社特色のあるニューモデルボートが展示してありました。航海計器類も安価で高性能なものがたくさん出展されていました。

◆一時係留棧橋（小型棧橋）の通路拡幅について

オーナーズクラブさんからの提案もあり、このたび平面保管艇の一時係留棧橋（小型棧橋）へ降りる通路の拡幅工事を行いました。従来は、カートにクーラーボックスなどの荷物を乗せ、棧橋へ入ることはできませんでしたが、今回通路の拡幅工事を行ったことにより、ご自身の船が係留してある場所までカートで荷物を運ぶことができるようになりました。



この斜路部分の幅を拡げました。傾斜がありますので荷物にはご注意ください



カートに荷物を載せて、直接棧橋までお入りいただけるようになりました。



ご使用后、カートは所定の位置にお戻しください。

◆マリーナの施設見学を実施しました！◆

去る5月22日（金）に、市内の保育園より69名の皆様がマリーナの施設見学にいらっしゃいました。当施設の見学は初めてとあって、園児の皆さんにも引率の先生方にも喜んでいただけたようです。今後ご要望に合わせ、地域貢献活動の一環として出来るだけ施設見学を実施していきたいと思っております。ロビーに当日の詳しい様子を写真と共に掲示しておりますので、マリーナにいらした際にご覧ください。



ヨットやモーターボートを間近に見て、園児たちも興奮気味でした。



棧橋の前で記念撮影。皆さん笑顔で「ハイッ、チーズ！」



修理工場にて「船のお医者さん」として紹介されたサービススタッフ。



マリーナ専用艇「米峰」にも実際に乗り込んでもらいました。男の子はハンドルを握って大喜びでした！